

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「版画」は明治の後半あたりから使われ始めた言葉でいわゆる造語です。そこには版にも独自の表現があるのだ、版画はすなわち版で描く画（え）だという意識がうかがえます。こうした版画について歴史的な知識を学び、より興味をもち、関心をたかめ、理解を深めていくことを目標にします。</p>			
【講義概要】			
<p>まずは様々な版画がどのように展開をしたのかから始め、次に日本を中心に浮世絵版画及び近・現代版画までを実際の作品や資料、画像などからわかりやすく解説していきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話①（版の表現）		
2	版画よもやま話②（版画の技法）		
3	版画よもやま話③（素材と用語）		
4	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画②技法と制作システム		
6	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		
7	日本開国！横浜絵と開化絵		
8	光線画の浮世絵師・小林清親		
9	日本の近代版画と創作版画運動		
10	詩と版画		
11	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		
12	時代の寵児・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012-2020年）。版画家・吉田稔高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論	天野純治	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を広げることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を広げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品鑑賞		
6	作品プレゼンテーション		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品鑑賞		
12	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞、山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。			
【講義概要】			
宮田徹也『芸術を愛し、求める人々へ』（論創社 2020年 ISBN978-4-8460-1895-5 C0070）の該当箇所（章を跨いだ通し番号）を予め読んで来てください。その上で考え、質問し、意見を交換する。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な答だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	『芸術を愛し、求める人々へ』1,2,3,4章		
3	//	5,6,7章	
4	//	8章	
5	//	9章134頁まで	
6	//	9章135頁から154頁まで	
7	//	10章	
8	//	11章	
9	//	12章、13章	
10	//	14章	
11	まとめ。		
12	総括		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉常三、宮川寅雄、針牛一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	銅版画	馬場知子	2単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。			
【講義概要】			
まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分のイメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。 (わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	説明 小作品（テストプレート）制作	18	本制作（加筆、刷り）
2	説明 小作品制作	19	本制作（加筆、刷り）
3	小作品制作 本作品準備説明	20	本制作（試し刷り）
4	小作品制作 本制作準備	21	本制作（加筆、刷り）
5	本制作準備(エスキースを仕上げる)	22	本制作（加筆、刷り）
6	エスキースチェック、本制作スタート	23	本制作（本刷り）
7	本制作（描画、腐蝕）	24	本制作（本刷り）
8	本制作（描画、腐蝕）	25	本制作（本刷り）
9	本制作（描画、腐蝕）	26	講評会
10	本制作（描画、腐蝕）		
11	本制作（描画、腐蝕）		
12	本制作（描画、腐蝕）		
13	本制作（試し刷り）		
14	本制作（試し刷り）		
15	本制作（加筆、刷り）		
16	本制作（加筆、刷り）		
17	本制作（加筆、刷り）		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(畦地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁向上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	造形演習	船井美佐	2単位 33時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>アーティストとして制作していく上での基礎となる力や美術の知識を学ぶ。古今東西の絵画にまつわる様式や表現の歴史について知り、さまざまな絵画様式を体験する。</p> <p>絵画の遍歴や特質を知ること、美術の歴史の延長線上にある現代の自分の位置について考える。今後、自分だけの新しい表現様式を作っていくための基礎知識を培う。</p>			
【講義概要】			
<p>絵画について、古今東西の伝統的な様式から近現代までのあり方を比較しながら学ぶことで、現代のまだ見ぬ新しい絵画表現について考えるための手掛かりとする。毎回、レクチャーの後に、実際の画材や技法を体験しドローイングや課題を制作する。</p> <p>1、「絵の中」何をどう描くか？ものの捉え方や構図など、対象を2次元に表す方法の様々なことについて。</p> <p>2、「絵の表面」何を使って描くか？絵具や絵紙、支持体など物質としての絵画のあり方の変化について。</p> <p>3、「絵の外側」どのように展示するか？作品と人と空間の関係の多様性について。</p> <p>最後にそれまでの授業の制作物で空間を構成し、各自インスタレーションとして発表する</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーションとアーティストトーク。自己紹介、自分の作品について話す練習。		
2	「イメージを形にする①言葉とコンセプト」世界で活躍する現代アーティスト、オノヨーコ、草間彌生等。		
3	「イメージを形にする②ドローイング」現代のさまざまな絵画表現、抽象と具象		
4	「平面・もののとらえ方1」西洋絵画の始まり、ルネッサンス、遠近法、光と影によるデッサン		
5	「平面・もののとらえ方2」東洋絵画のあり方、線と面による表現、デフォルメ、構図		
6	「構図と色彩の基本」近代化による絵画の変化、マネ、モネ、ゴッホ、ピカソ、マチスなど		
7	「抽象の始まりと色彩構成」抽象絵画の始まり、カンディンスキー、モンドリアンなど		
8	「身体・物質・偶然性」第二次大戦後の新しい表現、ポロック、ロスコ、具体、アンフォルメルなど		
9	「空間構成」70年代～ポップアート、コンセプチュアルアート、ソルウィット、フランク・ステラ、リヒターなど		
10	「空間構成」80・90年代～ニューペインティング、シュミレーションイズム、キーフアー、デミアンハースト、森村泰昌、村上隆、奈良美智など		
11	講評会 ドローイングを壁面に構成して作品を完成させる		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1974年生まれ 現代美術作家 筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了。線や色面、鏡を用いたインスタレーションにより現代絵画の可能性をさぐる。2009.2010年VOCA展/上野の森美術館、2017年個展/国際芸術センター青森、パブリックアートに明治大学、GINZASIXなど、その他多数。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストA	今野樹里恵	2単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文学にまつわる挿絵を連作（サイズに応じて3～5カット）で制作する。装丁や挿絵などで既存イメージができていた文学を、自分だけの表現方法で再構成すること。更に連作で制作することによって世界観を確固たるものとして表現することを学ぶ。			
【講義概要】			
テーマに基づくイラストレーション制作を修得します。一つの世界観で一連の作品を制作すること、自分の内面を表現するだけでなく外的要因（文学）に応じて制作をすることで、既存の表現に囚われずに新しい自分だけの表現を目指します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作		
3	制作		
4	制作		
5	制作		
6	制作		
7	制作		
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1996年埼玉県川越市生まれ。2018年創形美術学校ファインアート科版画専攻卒業。個展・グループ展・企画展など多数。2018年 ACT ART大賞展 プリント部門2位。2021年第5回アワガミ国際ミニプリント展 入選。2022年MINI PRINT INTERNATIONAL OF CADAQUÉS 2022 入選(スペイン)。2023年 IAG AWARD 2023 栗原画廊賞。銅版画家、作家。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	混合技法	工藤礼二郎	2単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法である油彩とテンペラによる混合技法を修得することを目的とする。			
【講義概要】			
有色下地を施したキャンバスにエマルジョンテンペラと油彩の積層からなる描画により、視覚的リアリズムを追求する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、地塗り／図版選定	17	油彩グレース／油彩描写
2	トレース／墨入れ	18	油彩グレース／油彩描写
3	墨入れ／有色下地塗布	19	講評／片付け
4	エマルジョンテンペラによる白色浮出		
5	エマルジョンテンペラによる白色浮出		
6	油彩グレース／白色浮出		
7	油彩グレース／白色浮出		
8	油彩グレース／白色浮出		
9	油彩グレース／白色浮出		
10	油彩グレース／白色浮出		
11	油彩グレース		
12	油彩グレース／油彩描写		
13	油彩グレース／油彩描写		
14	油彩グレース／油彩描写		
15	混合白によるハイライト		
16	油彩グレース／油彩描写		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー一現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	リトグラフ	中村真理	2単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。			
【講義概要】			
リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、下絵制作	17	製版、刷り
2	描画の進め方、見当の説明、製版のデモ	18	製版、刷り
3	刷りのデモ、版の準備	19	製版、刷り
4	描画	20	製版、刷り
5	描画	21	製版、刷り
6	描画	22	製版、刷り
7	描画	23	製版、刷り
8	描画	24	製版、刷り
9	紙の準備（いづみ）	25	製版、刷り
10	白黒1版の製版（全員）	26	講評会
11	白黒1版刷り（全員）、片付け、鑑賞、		
12	描画		
13	描画		
14	描画		
15	描画		
16	ベタ版のデモ、描画		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	物質と絵画	伊藤泰雅	3単位 99時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>主題を明確化し、素材と手法の選択の過程で、作家としての自覚とこだわりを喚起する。物質性、絵画性の両面から制作を見直し、完成度の高い作品を1点以上制作する。</p>			
【講義概要】			
<p>主題について文章(言葉)と素描によりできるだけ明確にする。単色、有色の素描、コラージュによりエスキースを重ねる。支持体を選択(複数可)し、手法を決める。物としての強度について意識しながら作品を制作する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション/デッサン	18	タブロー制作
2	デッサン	19	タブロー制作
3	デッサン	20	タブロー制作
4	デッサン/コラージュ	21	制作指導
5	デッサン/コラージュ	22	タブロー制作
6	デッサン採点/下地作り	23	タブロー制作
7	エスキース/下地作り	24	タブロー制作
8	エスキース/下地作り	25	タブロー制作
9	エスキース/下地作り	26	タブロー制作
10	エスキース/下地作り	27	タブロー制作
11	エスキース/下地作り	28	タブロー制作
12	エスキース/下地作り	29	制作指導
13	エスキース採点/タブロー	30	タブロー制作
14	タブロー制作	31	タブロー制作
15	タブロー制作	32	タブロー制作
16	エスキース採点/タブロー	33	講評会
17	タブロー制作		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1964年静岡県生まれ。1991年東京藝術大学大学院油画技法・材料修了。絵画を制作、個展を中心に発表。2001年関口芸術基金賞展優秀賞。最近の主な活動は、2016年・2018年・2020年個展(ギャラリー檜)、2017年第2回アートオリンピア入賞、2021年「表層の冒険-抽象のパロキスム」展参加など。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ドローイングと製本	山口茉莉	2単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。			
【講義概要】			
本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	簡易製本（綴じる）
2	ドローイング制作	18	講評会
3	ドローイング制作		
4	ドローイング制作		
5	講評会		
6	概要説明/（ノート作成）		
7	上製本制作（本文を綴る）		
8	上製本制作（本文を綴る）		
9	上製本制作（布の裏打ち）		
10	上製本制作（布の裏打ち）		
11	上製本制作（仕上げ）		
12	上製本制作（仕上げ）		
13	簡易製本（イラスト制作）		
14	簡易製本（イラスト制作）		
15	簡易製本（イラスト制作）		
16	簡易製本（綴じる）		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 2006年女子美術大学芸術学部絵画学科卒業。2008年同大学院研究領域版画修了。2015年英国JADE BOOKBINDING STUDIOにて研修。近年は「空想建築」を主題として平版画、陶、製本の技術を生かしたミクストメディア作品等を制作発表している。（社）日本版画協会準会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2024年度	2年版画専攻 ／後期 ・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	写真と美術	松蔭浩之	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
写真の成り立ちから、構図や光の捉え方などを享受しつつ、「写真とはなにか？」を考察し、絵画制作に活用することを目標にする。			
【講義概要】			
歴代写真家の作品を紹介し、読み解きながらの座学と、デジタルカメラの扱い方を指導しつつ、ワークショップ形式で制作を重ねる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	写真の誕生／カメラの仕組み		
2	私の写真論1／カルティエ・ブレッソンを「読む」		
3	デジタルカメラ入門1		
4	私の写真論2／WS「モノクロ・ユニバース」		
5	デジタルカメラ入門2		
6	セルフポートレート実践／森村泰昌		
7	セルフポートレート実践／WS 講評		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1965年福岡県生まれ。1988年大阪芸術大学写真学科卒業。現代美術家。写真、グラフィック、空間デザインなど多岐にわたって活動。ヴェネツィアビエンナーレ、シンガポールビエンナーレ出展。『昭和40年会』会長。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	シルクスクリーン	東樋口徹	2単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品（18×25cm位）を1点、5版以上を使った作品（25×38cm位）を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多様な効果を会得していきます。</p>			
【講義概要】			
<p>基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5版以上を使った作品（A3/29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・技法説明	17	制作
2	技法説明 (PCを使用した4色分解)	18	講評会
3	製版説明		
4	刷り方説明		
5	制作		
6	色々な刷り方説明		
7	制作		
8	制作チェック		
9	制作		
10	制作		
11	制作チェック		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	抽象絵画考	工藤礼二郎	3単位 54時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
抽象絵画が難解で分かりづらい芸術であるという呪縛から解き放ち、表現手段の一選択肢として考慮できるようにする。			
【講義概要】			
20世紀初頭に誕生した抽象絵画という概念や形式はどのようなものなのか。またそれらは21世紀の現在においてどのように引き継がれるであろうか。概念的な思考の前にまずは抽象の様々なあり様を描くことを通して体験し、自らの表現として獲得しうるかを試みる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	制作チェック
2	抽象絵画について	18	講評会
3	抽象絵画について		
4	制作チェック		
5	エスキース制作		
6	エスキース制作		
7	エスキース制作		
8	タブロー制作		
9	タブロー制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	中間ディスカッション		
14	制作		
15	制作チェック		
16	制作		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部 (3年制)	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストB	須田浩介	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>テーマの意図を自分の表現として解釈発展させる力を伸ばす。イラストレーターがクライアントワークで行うアイデア出しラフの提出などのプロセスを活かし制作に取り組みアーティストとしてもイラストレーターとしても必要なコンセプトと作品表現とを繋げる力を伸ばす。</p>			
【講義概要】			
<p>アナログ画材を使用し与えられたテーマに対して作品を制作する上で個々の持つ個性や表現を活かしながらより魅力的な作品表現となる様に作品を描く上でのコンセプトと「何故」をよく考えながら表現に繋げ自分の表現や世界観をブランディングしていく為の授業です。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課題1制作		
3	課題1制作		
4	課題1制作		
5	課題2制作		
6	課題2制作		
7	課題2制作		
8	課題1、2講評		
9	課題3制作		
10	課題3制作		
11	課題3、4制作		
12	課題4制作		
13	課題4制作		
14	講評会		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>イラストレーター。2008年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業、同年シテデザールに派遣。2008年～2013年フリーアートマガジンS発行、雑誌・装画・ポスター等の仕事を手がけ、アクリル絵の具を使ったファッション感のある人物、動物等を主に描く。跡見学園女子大学イラスト非常勤講師。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	木版画	鈴木吐志哉	2単位 84時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>1年次の「専攻別ワークショップ（版画専攻）」で体験した水性木版画1版単色をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。・版木サイズ300×225mm（4～5版多色）</p>			
【講義概要】			
<p>水性多色木版画の作品の制作および基本技術と技法の展開。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	制作準備～制作エスキース	17	様々な摺り 一摺り方による作品の展開一
2	コラグラフの制作（素材を考える）	18	彫版～試摺り
3	コラグラフの制作	19	彫版～試摺り
4	コラグラフの制作	20	再彫版
5	コラグラフの刷り（木版画への応用）	21	再彫版
6	木版画について	22	彫版～試摺り
7	木版画下図準備	23	彫版～試摺り
8	トレースについて	24	彫版～本摺り
9	様々な彫り（コラグラフを参考に）	25	彫版～本摺り
10	彫版	26	彫版～本摺り
11	彫版	27	彫版～本摺り
12	様々な摺り 一摺り方による効果一	28	制作～講評
13	彫版～試摺り		
14	和紙の話、彫版～試摺り		
15	彫版～試摺り		
16	彫版～試摺り		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ピエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA G RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員、版画学会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科 昼間部 (3年制)	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	詩と表現	田野倉康一	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
毎回、授業の最初に講師が同時代の詩を朗読、紹介するとともに、講義においては、詩に対する理解を深めることにより、ファインアート、デザインの実践に、言葉の側面から寄与したい。また、その目的において、詩の実技指導も行う。			
【講義概要】			
受講者がそれぞれに詩に触れ、受容し、詩作することを通して、他人の言葉に左右されることなく、ファインアートやデザインの実践の中で言葉とうまく付き合っていけるようになること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	詩とはなにか。あるいは詩の現在について		
3	詩と美術・詩とデザイン		
4	詩の作り方・実技指導		
5	実技指導		
6	実技指導		
7	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1960年生まれ。明治大学文学部文学科フランス文学専攻卒、2002年第13回歴程新鋭賞受賞、現代詩文庫『田野倉康一詩集』をはじめ、単行詩集5冊、共著4冊、編書1冊のほか、山田正亮展（東京国立近代美術館）、イケムラレイコ展（ヴァンジ彫刻庭園美術館）など展覧会のカタログテキストの執筆多数。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画と物語	山口 藍	3単位 90時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>支持体と描画の関係性 平面絵画において、特に支持体が作品の内容にもたらす影響を改めて考え、実際の制作を通して描画との相互の関係性を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>描こうとする題材（テーマ）を任意の物語や散文などの一場面に設定し、それを絵画作品として表現するために最も適した支持体を選び（あるいは作り）制作する。作品を構成するあらゆる要素に意味を持たせたり、それを伝えたりできると意識することで、作品制作において色々な角度から思考し掘り下げていくことにつなげていく。 ※キャンパス以外にも、あらゆる物に支持体の可能性を探ってみること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	23	制作
2	制作	24	制作
3	制作	25	制作チェック
4	制作チェック	26	制作
5	制作	27	制作
6	制作	28	制作
7	制作チェック	29	制作
8	制作	30	講評会
9	制作		
10	制作チェック		
11	制作		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	制作チェック		
17	制作		
18	制作		
19	制作チェック		
20	制作		
21	制作		
22	制作チェック		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンパス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ファインアート科昼間部（3年制）	2024年度	2年版画専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	技法と表現	鈴木吐志哉 東樋口徹 中村真理 馬場知子	4単位 207時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
基本4版種から各自が選択した技法による制作。			
【講義概要】			
前期に行った版画基本4版種（シルクスクリーン、銅版画、リトグラフ、木版画）から各自で技法を選択し、画材の購入の仕方、取り扱い等を学びながら自由に制作してもらいます。 ・作品サイズに指定は特になが、小作品で数多く刷りの経験を重ねる事を推奨する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	～5 描画		
6	～10 描画、製版		
11	～15 描画、製版、刷り		
16	～20 2版目の描画開始、製版、刷り		
25	～30 描画、製版、刷り		
31	～35 描画、製版、1版目の刷り全員終了する		
36	～40 3版目の描画開始、描画、製版、刷り		
41	～45 描画、製版、刷り、中間講評		
46	～50 描画、製版、刷り		
51	～55 4版目の描画開始、描画、製版、刷り		
56	～60 描画、製版、刷り		
61	～65 描画、製版、試刷り		
66	～68 本刷り		
69	講評会		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめぎ、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員、版画学会会員。東樋口 徹：1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007胃上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。中村 真理：1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞（社）日本版画協会会員。馬場 知子：1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展（駐地梅太郎賞）、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁胃上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ（優秀賞）、（社）日本版画協会会員。			